



Collaborate UR協働ロボットフェア 2023

セミナープログラム

※セミナーの録音・録画・撮影は禁止になります ※席数の都合により、立ち見もしくは会場にお入りいただけない可能性があります

7.26 水

10:00-10:15

ユニバーサルロボットよりご挨拶

10:15-11:00

特別講演

協働ロボットと共存共栄する社会に向けて
—50台以上の協働ロボットを導入した
中小製造業における取り組み—
愛同工業株式会社 代表取締役社長 渡辺 裕介 氏



11:10-11:40

**D:PLOY 協働アプリケーションを自動化する
業界初のプラットフォーム**

OnRobot Japan 株式会社 鈴木 孝 氏
ロボットの出現により自動化の分野は劇的に成長し多くのメーカーは自動化を採用しましたが、中小企業にとっては自社での構築が未だ困難です。製造現場へのロボットアプリケーションの展開は複雑で時間を要しますが、D:PLOYを用いればこの問題を解決でき、誰もがチャットGPTのように簡単に自動化のメリットを享受でき、導入しやすくなります。

11:50-12:20

**いまさら聞けない
協働ロボットのメリットと導入ステップ**

ユニバーサルロボット
自動化の新たな選択肢として登場した協働ロボット。さまざまな業界で導入が進んでいますが、一方で従来の自動化設備との違いやメリットが分からないという声も聞こえてきます。
本セミナーでは、これから協働ロボットを検討しようと考えている方、改めて学びたいと考えられている方向けに、協働ロボットの特長と本当のメリット、事例、導入ステップをご紹介します。

13:00-13:30

特別講演

**実装工程におけるURロボットを用いた
省スペースな自動化事例**

カヤバ株式会社 オートモーティブコンポーネンツ事業本部
サスペンション事業部 生産技術部 酒井 一生 氏



13:50-14:20

金属加工業界における協働ロボットの導入事例

ユニバーサルロボット
金属加工業界において、なぜ協働ロボットが求められているのか、どんな用途で使われているのか、なぜURが選ばれているのかをご紹介します。

14:40-15:10

**協働ロボットアプリケーション向け
新型ハンドのご紹介**

SMC株式会社 営業本部 秋山 武史 氏
人手不足慢性化が深刻な社会問題になっている中、「省人化」、「自動化」の観点からロボット化が期待されており、ハンドがボトルネックになりロボット化が進捗しないケースが散見されます。
そんなハンドの問題を克服すべく、非定型ワークや異種ワークの把持が可能な協働ロボット向け新型ハンドおよび関連製品の紹介を行います。

15:30-16:00

三品業界における協働ロボットの導入事例

ユニバーサルロボット
三品業界において、なぜ協働ロボットが求められているのか、どんな用途で使われているのか、なぜURが選ばれているのかをご紹介します。

16:20-16:50

協働ロボットのリスクアセスメント手法

ユニバーサルロボット
協働ロボットの安全な導入に際して必要となるリスクアセスメントについて、関連する法令やガイドラインおよびモデルケースを用いたリスクアセスメントのステップ、URロボットの機能の活用方法についてをご紹介します。

7.27 木

ユニバーサルロボットよりご挨拶

特別講演

**トヨタ自動車における協働ロボットの
安全対策(リスクアセスメント)と
倣い組付等活用事例の紹介**



トヨタ自動車株式会社
モノづくりエンジニアリング部 要素技術開発室
門脇 岳史 氏(トヨタ自動車 ロボット連絡会 事務局)

Cambrian Visionの可能性と拡張性

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル 植垣 潤 氏
ビジョンシステムのウィークポイントであった外乱光の影響、立上工数の工数削減が図れるCambrian Visionの紹介となります。
自動車・電機、三品等の様々な業界で注目され、ピッキング工程の導入に進まれているお客様の事例含めてご紹介いたします。

**「協働ロボットは遅い」で諦めない、
サイクルタイム向上塾**

ユニバーサルロボット
協働ロボットは安全性を考慮するとスピードが遅い、目標サイクルタイムに合わないのではと懸念される方もおられます。本セミナーでは、協働ロボットを用いたシステムのサイクルタイムを向上させるための考え方や方法をご紹介します。

自動車業界における導入事例

ユニバーサルロボット
自動車業界において、なぜ協働ロボットが求められているのか、どんな用途で使われているのか、なぜURが選ばれているのかをご紹介します。

ロボット用走行軸とロボットのセットアップ手順

イグス株式会社 藤井 航平 氏・澤田 裕介 氏
イグスロボット用走行軸(7th axis)のスペック概要と、最大の特徴であるセットアップ方法をご紹介します。簡単なインストール手順によりロボットアームへ走行軸として1軸追加する事ができ、また全てのコントロールをUR内で完結出来る様になりました。
更に走行軸の技術コア部分である、モーションプラスチックについても併せてご紹介いたします。

ロボット自動化に向けた課題解決提案

株式会社コスメック 中村 将 氏
ロボットシステム構築における課題解決として3つのご提案をいたします。
提案① 協働ロボットの簡単汎用化協働ロボットの楽々移動、台車設置の位置再現性を3umで再現
提案② 協働ロボットで動かす省エネシリーズCN効果抜群の装置造り、動力を選ばない装置を実現
提案③ コスメックOnly1エアノリークシステム、正圧/負圧の完全密閉、空圧及び真空を動力源から切り離しが可能

**次世代の協働ロボットUR20大解剖!
URが選ばれ続けるポイント**

ユニバーサルロボット
ユニバーサルロボットの最新製品UR20について、これまでのURロボットからどのように進化したのか、他の協働ロボットとどう異なるのか、どんな優位性があるのかをご紹介します。

**こんなことも自動化できる!
URはこんな使い方もできる!UR機能とことん追求**

ユニバーサルロボット
誰でも簡単にプログラミングができるURロボットには、複雑な制御をプログラミングできるさまざまな機能も備わっており、これらの機能を活用することで自動化できる適用範囲を拡大することができます。本セミナーでは、いくつかのモデルケースを用いてURロボットの機能をどう活用できるのか、それによってどんな制御が可能なのかをご紹介します。